

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	来て、見て、触って、やってみて。生坂リノベーション塾！
事業主体 (連絡先)	生坂村 (0263-69-3111)
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業 (4)安全・安心な地域づくりに関する事業 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,550,606円 (うち支援金: 1,944,000円)

事業内容

村内には放置された空き家が増えており、年々危険な状態になり、多くの問題を抱えることになっている。空き家を購入し、DIYにより改修をしたいが、素人では不安があり購入に躊躇している人たちがいるため、そうした、自分でリノベーションしたい方法に対して、試験的に経験できる場を提供するためリノベーション塾を開催した。

リノベーション塾では、講師を招き参加者にそのノウハウを伝達し、工具や道具の使い方、実際の大工作業等について土曜日と日曜日の2日を一回とし7月から11月まで7回(14日)実施した。



【塾(作業)の様子】

【目標・ねらい】

- ①空き家を減らす(有効活用)
- ②DIY関心を高める
- ③空き家バンクへの登録を促す
- ④

事業効果

・移住者の関心が高く、令和元年・2年に空き家バンクを利用して移住した方の参加者多かった。各回参加者の30%程で、それ以前からの移住者を含めた参加者は全体の70%程度となった。

・リノベーション塾によって安価な空き家の改修作業ができる事実を家主に知っていただくことで、関心を寄せる空き家所有が出てきている。

・リノベーションを地域の方や興味のある方と一緒に行うことで、協働作業が生まれ、新しい発見や発想など生み出した。

・空き家オーナーに対して、リノベーション塾の理解を深めてもらい、次回の実行できる物件の確保への話が進められている。

※自己評価【C】

【理由】

移住者の参加者が多く、空き家所有者の中にも関心を示す方が出ている。コロナ禍もあり参加者を減らし、報告会を開催することができず、空き家活用やDIYの十分な広報・啓発ができなかった。

今後の取り組み

今回は規模の小さな物件で行ったが、今後は古民家など移住者のニーズが高い物件で塾を開催することで、さらに所有者と利用希望者の関心を高め空き家の活用による移住者を増やし、定住できることを目指す。

住宅だけでなく、オフィスとして利用できる改修なども取り入れ、空き家の幅広活用ができるよう取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)